



Rotary

ロータリーは
機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規 幹 事 田 原 聖 会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2878号 2020年7月28日(曇りのち雨) 第4回例会 会員数121名 列席多数



点 鐘 渡邊 有規会長
司 会 SAA 谷田部 修会員

- ◇ロータリーソング 感染防止のため割愛
- ◇本日のランチ 持ち帰り弁当

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆さん、こんにちは。本日の第四例会で新年度、第60期が始まり1ヶ月となります。新型コロナ問題で、なかなか開催の出来なかった新年度の委員会でしたが、この1ヶ月の間に多くの委員会を開催いただき、委員長、副委員長、そして委員の方々と交流を深め、数多くの熱のこもった委員会方針を聞かせて頂くことができました。まだ、開催をご遠慮されている委員会も是非、その思いを聞かせていただきたく、お声がかかりますことを幹事共々お待ちしております。

委員会では、経験を踏んだ先輩方々の、前向きな、建設的なご意見も多くありました。ますます宇都宮東ロータリークラブそして、会員皆様への感謝と誇りを深め、私自身も大変にやる気、情熱を新たにいただきましたが、その矢先、新型コロナウイルスの感染者も急増し、県も対策本部会議を開き、感染状況警戒度を三段階で中間の「感染拡大注意」に引き上げました。本日から8月31日をめどに、県民や事業者に対して、「三つの密」(密閉、密集、密接)の回避など、感染拡大防止策への協力を要請されました。県民には、①マスク着用、換気の徹底、三密回避。②体調が悪い場合には仕事は休み、旅行外出を控える。③感染防止対策が徹底されていない場所への外出を控える。事業者には、④新型コロナ感染防止対策取組宣言の実施。イベント開催には、⑤リスク対応が整わなければ中止または延期とのことです。

例年ですと本日は納涼親睦家族会ですが中止とさせていただきます。今後におきましても、十分注意して、例会、委員会等の開催を、また、開催の仕方を考えて行きたいと考えておりますので、急な変更もあるかと思いますが、御容赦をいただ

きたいと思います。我が東ロータリークラブは、安心を、安全を、確実に守れる確固たる対策を皆さんでして行きたいと考えております。仕事柄大変な御苦勞をされておられる会員の方もいらっしゃるかと思います。皆さんで、一致団結、助け合って、全会員一緒に乗り切って行けるようにすることが大切な役割とっております。宇都宮東ロータリークラブは絆一つ、どうぞよろしくお願い申し上げます。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 岡田委員長
小菅庸二会員

先日は米寿のお祝いを有り難うございました。

- ◇親睦委員会 塚越委員長

- ・第4回地区ゴルフ選手権大会の出欠のお返事がまだの方は至急お返事を。是非ご参加を。
- ・旭年度誕生記念品「エルクッション」の受け取りがまだの方はお申し出ください。

今年度各委員会の事業計画の発表(2)

1. プログラム委員会 床井光雄委員長
魅力ある元気なクラブ活動が出来るよう努めます。卓話に関しては、心温まる、勉強になる卓話を企画致します。多様な分野の方々の卓話の依頼、また会員の皆様への卓話のお願いも考えております。各委員会とも連携し、魅力ある活動に繋がります。
2. 社会奉仕委員会 山中和弥委員長
 - ①大船渡市へ桜を植樹寄贈し地域住民のお花見復活プロジェクト
 - ②子どもの貧困支援として「恵友会」に対する支援事業
 - ③COVID-19(新型コロナウイルス)感染防止に対する支援事業
3. 国際奉仕委員会 加藤勝朗委員長
コロナ騒ぎの影響で海外との行き来が出来

ないような一年になりそうなので、我々委員会としてどう活動していくか、真剣に考えなければなりません。この一年は原点に帰って、国際奉仕は何か、ロータリーは何か、考える委員会にしていきたいと思います。行事なども臨機応変に、即行動をおこせるような、ラジカルな活動をやっていきたいと思います。

4. ロータリー財団委員 倉井 章委員長
- ①ロータリー財団について会員に協力が得られるように、財団プログラム及びロータリー財団の活動を紹介し、理解を深めて頂けるよう活動する。
 - ②ロータリー財団への年次基金及びポリオプラス寄付の地区目標達成と、恒久基金寄付への協力をお願いする。地区目標は年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル。当クラブの予算150ドル。不足分は個人寄付のご協力を。
 - ③お花見復活プロジェクトの地区補助金申請をしているので、大船渡西ロータリークラブの協力を得て、大船渡市での植樹事業を行う。
5. 姉妹クラブ委員会 黒崎定美委員長
- ①旭年度に締結された、姉妹クラブ鳳山西区ロータリークラブとの友好関係を発展維持するとともに、宇都宮東ロータリークラブ会員が姉妹クラブとの友好活動へ理解を深め進んで参加する活動をおこないます。
 - ②宇都宮東ロータリークラブ60周年記念式典に各姉妹クラブからの来訪参加を呼びかけます。
 - ③鳳山西区ロータリークラブの35周年記念式典に当クラブ会員の参加を呼びかけます。
6. 青少年奉仕委員会 松山 栄委員長
- ①宇都宮東・作新学院大学ローターアクトクラブの奉仕活動への支援と育成。特に宇都宮東ローターアクトクラブは設立35周年にあたるので何らかの支援を行いたい。
 - ②宇商マーキュリーインターアクトクラブの奉仕活動への支援と育成。RI3470地区（台湾）とRI2550地区インターアクトクラブとの相互交流への参加。宇商マーキュリーインターアクトクラブは設立3周年。
 - ③地区主催のRYLAセミナー（ロータリー青少年指導者養成プログラム）の参加要請。
 - ④宇都宮東地区各中学校（陽北・旭・泉が丘）対象の善行生徒表彰の継続。
 - ⑤サッカー・宇都宮チャンピオンカップへの継続協賛。
7. インターアクト委員会 金子 剛委員長
- 主に、宇商マーキュリーインターアクトの高校生達の奉仕活動、及び国際理解に貢献する活動について補助、支援していきたいと思っています。例年の事業計画として、インターアクト年次大会、高校生RYLA、台湾への研修、

足尾植樹の奉仕活動を行っていますが、コロナ禍の中で、今回、インターアクト年次大会はZOOMによる初の試みの大会となります。

8. R米山記念奨学会委員会 片嶋常隆委員長
- ①奨学事業の理解促進
米山奨学会事業に関する深い理解を一層促進するために、10月の米山月間において、米山奨学生や地区の米山委員の方から卓話を頂く予定です。
 - ②奨学会への寄付増進への取り組み
普通寄付と共に、より多くの会員から特別寄付の協力を頂けるように努めます。地区目標額は19,000円。普通寄付8千円と、昨年同様、例会前に寄付受付を設けます。（千円から）
 - ③世話クラブとして引き受けました奨学生を、引き続き学業支援、そしてクラブ会員との交流、親睦を深めるよう努めます。
8. R米山記念奨学会学友委員会 片嶋常隆委員長
- 世話クラブとして引き受けた米山奨学生が、奨学期間終了後も当クラブとの友好関係を維持・継続するための方策を考案し実施に努めます。案として上がっていますが、当クラブ学友とのメールでの交流です。
9. 公共イメージ委員会 旭 英幸委員長
- 公共イメージ委員会の役割は、いかにロータリークラブの存在を世間、世の中に知らしめるか、ということだと考えます。先月8日、栃木テレビに森本ガバナーと地区公共イメージ委員長である当クラブの田原幹事が出演し、ロータリークラブの趣旨を話しておりました。その中にポリオプラスの話もでておりました。ロータリアンの全体とロータリークラブの底上げには、自分たちのクラブのみの活動ではないことが大事ではないかと存じます。世界に向けたクラブを作ることによって、公共イメージを上げていきたいと思っています。
10. 親睦委員会 塚越淳史委員長
- 渡邊会長の年度方針にもありました「絆」をキーワードにして、これまで以上に会員同士が親睦を深めて、新会員の方達がクラブ行事に積極的に参加して貰えるような、より強固な「絆」で結ばれたクラブにしていきたいと思っています。年度初めの納涼家族例会はコロナの影響で中止にせざるを得ませんでした。年忘れ家族例会をはじめとし、迎える行事が沢山ありますので、安心してご参加いただけるようにコロナウイルスの情勢を見極めながら計画、実行していきたいと思っています。
11. 創立60周年記念式典特別委員会 小林利延委員長
- 委員会の経過報告がありました。内容につきましては後日委員会報告でお知らせいたします。